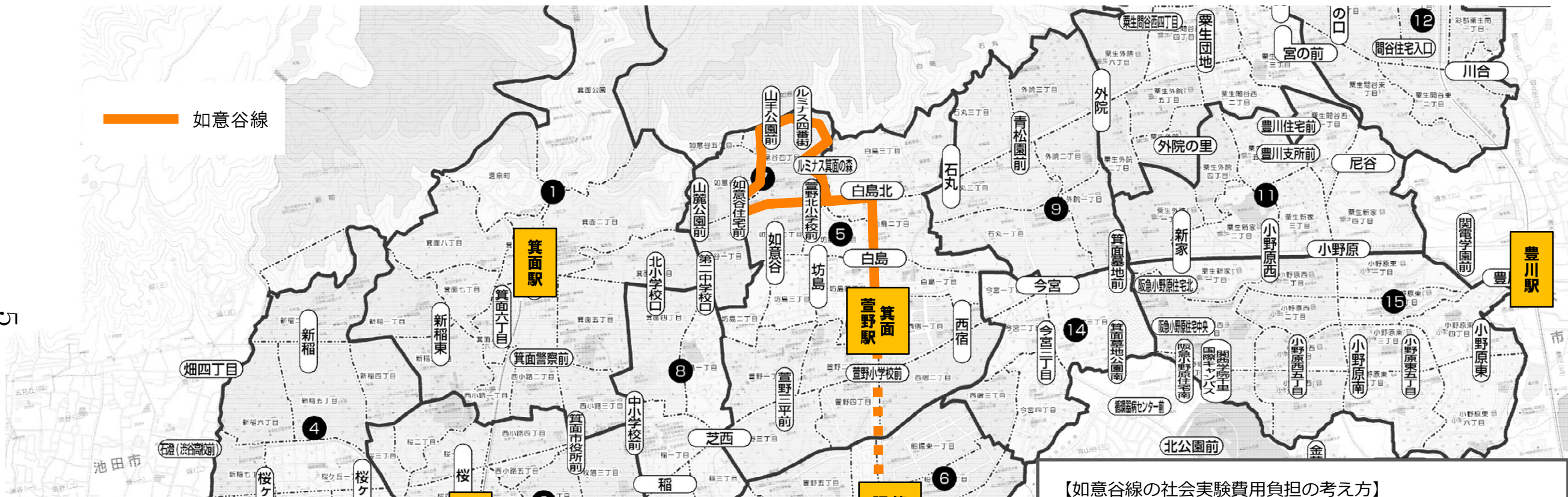


【如意谷線について】

- 社会実験路線としての設定にあたって、阪急バスからは、バスの利用者が大幅に減少することが見込まれるため、現行の半分程度の運行頻度とすることが提案され意見募集を行ったが、パブリックコメントにおいては運行頻度の確保を望む意見が多く提出された。
- パブリックコメントでの市民意見のほかに、如意谷地域を対象として実施されたアンケート調査によりバス利用者の減少はあまり大幅なものではないとするデータが提出されたこと、および、如意谷線は、これまでの千里中央駅行きから箕面萱野駅行きに再編されることで運行距離が短くなるなど運行経費の縮減が見込まれることから、運行頻度の確保について、事務局と阪急バスで協議を行った。
- 協議の結果、箕面市と阪急バスが経費を分担しあう（※右下図参照）こととしたうえで、現行と同程度の運行頻度を確保する。



如意谷線の運行間隔

	如意谷線の運行間隔					
	現行		再編後			
	千里中央行	帰り	パブコメ提示案		協議後修正案	
		萱野行	帰り	萱野行	帰り	
朝 (~9時)	10~15分	15~20分	30分	30分	10~15分	15~20分
昼 (9時~17時)	30分	30分	60分	60分	30分	30分
夕 (17時~)	20~25分	20分	30分	30分	20~25分	20分

【如意谷線の社会実験費用負担の考え方】

